

広島県感染症発生動向月報

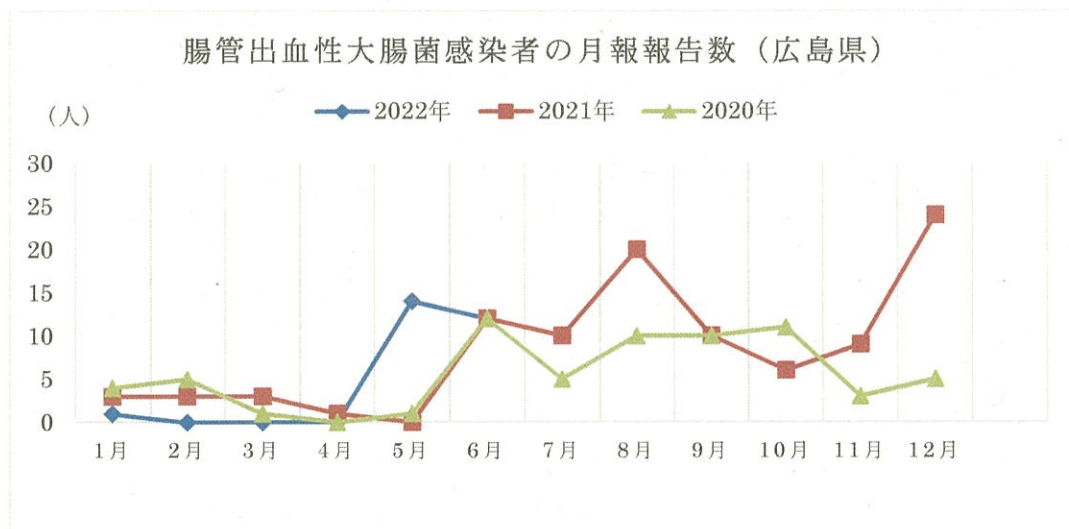
[広島県感染症予防研究調査会]
(令和4年7月解析分)

1 今月のトピックス

■ 腸管出血性大腸菌感染症が増加しています！

病原体	腸管出血性大腸菌 O157, O26, O111, O103 など (ベロ毒素をつくるもの)
症状	<ul style="list-style-type: none"> 腸管出血性大腸菌は、症状がないものから、腹痛や下痢を伴うもの、血便を伴うもの、さらに、重症化して溶血性尿毒症症候群 (HUS) を発症する場合など、症状は様々です。 多くの場合、3～8日の潜伏期間の後に、頻回の水様性下痢で発病し、激しい腹痛、血便を伴います。 子どもや高齢者は重症化しやすいので、特に注意が必要です。

- O157 をはじめとする腸管出血性大腸菌による感染症は、例年6月～10月にかけて多くの患者が報告されています。
- 今季は、腸管出血性大腸菌の県内の報告患者数が5月から増加しており、これから発生が多い時期が続くことから、引き続き注意が必要です。



- 腸管出血性大腸菌は、飲食物を介する経口感染がほとんどで、菌に汚染された飲食物を摂取することで感染します。少量の菌数 (100 個程度) でも感染が成立するほど、感染力が非常に強いいため、患者や保菌者の便からの二次感染もしばしば起こります。
- 腸管出血性大腸菌感染症を予防するには、食中毒予防の基本 (菌をつけない、菌を増やさない、菌を殺す) を守りましょう。食品は、中心温度を75℃以上で1分以上、十分加熱調理してください。焼肉などの時は、取り箸やトングは、生肉用と食事用は使い分けてください。
- また保育施設等における集団感染事例も発生しており、その予防には、手洗いの励行が基本です。特に食事前やトイレ後の手洗いは徹底してください。手指衛生のためにアルコール性の擦式消毒剤を追加しようするのも有効です。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和4年6月分(令和4年6月6日~令和4年7月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	0.00	0.14		10	ヘルパンギーナ	41	0.14	0.17	↑
2	RSウイルス感染症	142	0.49	0.38	↑	11	流行性耳下腺炎	7	0.02	0.20	↔
3	咽頭結膜熱	160	0.56	0.63	↔	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	0.24	1.71	↔	13	流行性角結膜炎	24	0.32	0.67	→
5	感染性胃腸炎	1,686	5.85	5.09	↔	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	9	0.03	0.18	↔	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	193	0.67	0.83	↑	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.04	
8	伝染性紅斑	2	0.01	0.10		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	90	0.31	0.38	↔	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.58	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和4年6月分(6月1日~6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	69	3.00	2.72	→	23	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	83	3.95	2.94	↔
20	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.91	0.82	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.21	
21	尖圭コンジローマ	12	0.52	0.64	↔	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
22	淋菌感染症	35	1.52	0.95	↔						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)
 ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	RSウイルス感染症	(0.10 → 0.49)
	手足口病	(0.18 → 0.67)
	ヘルパンギーナ	(0.03 → 0.14)
○急減疾患		

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五类等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	46	結核(46)〔広島市保健所(14),呉市保健所(5),福山市保健所(8),西部保健所(8),東部保健所(6),西部東保健所(2),北部保健所(3)〕
三類	12	腸管出血性大腸菌感染症(12)〔広島市保健所(7),福山市保健所(1),西部保健所(4)〕
四類	19	E型肝炎(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		マラリア(1)〔広島市保健所(1)〕
		レジオネラ症(6)〔広島市保健所(2),福山市保健所(1),西部保健所(1),東部保健所(1),北部保健所(1)〕
		重症熱性血小板減少症候群(1)〔東部保健所(1)〕
		日本紅斑熱(9)〔広島市保健所(1),呉市保健所(2),福山市保健所(1),東部保健所(5)〕
五類	58	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所(1)〕
		ウイルス性肝炎(3)〔広島市保健所(3)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症(6)〔呉市保健所(1),西部東保健所(2),北部保健所(3)〕
		クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(4)〔広島市保健所(2),呉市保健所(1),西部保健所(1)〕
		後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所(1),北部保健所(2)〕
梅毒(35)〔広島市保健所(28),福山市保健所(4),呉市保健所(1),西部保健所(1),東部保健所(1)〕		
新型インフルエンザ等感染症	11,695	新型コロナウイルス感染症(11,695)〔広島市保健所(6,272),福山市保健所(1,244),呉市保健所(1,025),西部保健所(1,354),西部東保健所(1,110),東部保健所(630),北部保健所(60)〕